

吹田民主商工会 いんぷお めくしよん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 63883-2211
FAX (06) 63882-8190
<http://www.suita-minsyou.com>
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

今、吹田民商では民商活動の基礎となる班活動を見直し、強化する運動に取り組んでいます。

事業計画書作成連続講座の課題で班会

竹田副会長は片山支部の原町4丁目とその周辺を班として受け持つ班会を開いています。11日に開いた班会では、事業計画書作成連続講座に参加している2人の会員と一緒に、計画書の基礎になる事業理念と記帳・家計について交流しました。理念を作ることが初めての2人に、竹田さんから互いの長所を見つけようという提案。話が弾み、難しく感じていた課題を解決できるきっかけが見つかり、班会が終わるころには自信が湧いた様子でした。次の講座のあとにも班会をやることを話し合っ決めてました。署名についても同じ班の会員さんを分担して署名を集めることも話し合っ決めていきます。



健康の話題で盛り上がりました

村上副会長は中央支部の寿町2丁目と中の島町を担当して班会を開きました。11日の班会には村上さん夫妻を含めて7名が集まりました。村上さんは始めに国保や税金等で滞納しているものはないか心配して参加者に問いかけました。幸い参加者は全員、国保減免などを活用して滞納していないことを確認し、今年の減免をしていない方には、毎月相談をやっていることを紹介しました。国保の話をしていたからか、健康の話題が出た途端、その話で持ちきりに。自分の持病のことや健康のためなどに必要なことをしているのかで話が弾みました。班会の話題の3分の2が健康のことで話になりました。一人の会員さんは最近入院していたことも分かり、共済会の給付申請も出してもらうことになりました。村上さんが事前に渡していた消費税と憲法の署名は参加者全員が持ち寄り、3名の方は10名以上の署名を集めてくれました。



第2回相談活動

拡大運動全国交流会に参加して

会長 工藤 芳昭

10月11日、12日と伊豆の伊東で開かれた全商連の全国交流会に吹田から西尾、布施、生駒の事務局と私の4名で参加してきました。1日目は全体会で問題提起のあと相談活動と拡大運動を推進することをテーマに4人のパネラーによる報告がありました。中でも北海道の拡大の取り組みで商工新聞が全体で180名増勢していることや、50周年の12月までに毎月130名の読者拡大をして、読者・会員とも最高現勢を目指している旭川民商のことなど、14の民商が目標にこだわり行動している様子が報告されました。また、広島福山民商が支部中心の身近な相談活動で毎月17支部が「なんでも相談会」を開催していることや創業者支援セミナー、夜オリを開催したりして会員・読者を増勢していることが報告され、それぞれ凄いいい結果を出している所は常に目標を立てて達成するために100%の力を出して必ずやりきるんだと言う気持ちで行動していると思えました。1日目の終わりに司会者から突然、西尾さんが発言を求められ、吹田民商がこれからやろうとしている記帳・自主計算を基軸にした多彩な経営対策で民商活動の質的転換に取り組んでいる事が発表され、吹田が全国的にも注目されていることを実感しました。

2日目は午前中に6つの分科会に分かれて議論しました。私は国保・社会保障の分科会に参加しました。吹田市はこのところ毎年続けて国保料が引き上げられています。国の政策として国保の広域化を進めようとしていることが原因とが前にも増してよく分かりました。広域化になるといままで行ってきた減免制度がなくなってしまう。なんととしても広域化に反対しなければと思います。

最後の全体会で、分科会報告を座長から指名され吹田も読者拡大が毎月会員比2%目標を85ヶ月連続達成して進行中とか、みなさんに集会のたびにお願しているビラ配布のことなどを全国みんなの前で吹田の取り組みと、この秋の拡大を頑張る事を公言してしまいました。役員、事務局だけの奮闘、努力だけではいっつかは途切れてしまいます。組織を大きくする事が自身自身の営業と暮らしを守ることに確信し、会員、読者の皆さんのご協力をお願い申し上げます。



お買い物は地元市場商店街で。商工業者の繁栄は市民と共におい!